



健幸アプリを使った運動や健康管理で”健幸”になろう！

# 「KENPOS」スマートフォンでの登録の仕方

昨年12月からスタートしたアプリです。日ごろの健康づくりにご活用ください。

問合せ (株)イーウェル ☎ 050・3850・6471 (平日午前9時30分～午後5時30分)



登録はこちら

## STEP 1 個人情報を登録

- ① 右上のQRコード（三島市「KENPOS」サイト）を読み取り、氏名、生年月日、メールアドレス（ID）、パスワードなどを登録
- ② 仮登録メールを送信してメールアドレスから認証メールを受信
- ※ 24時間以内にメールに記載されたURLをクリック



## STEP 2 アプリで設定

- ③ 「KENPOS」アプリをインストール
- ④ ①で登録したメールアドレス（ID）とパスワードでアプリにログイン
- ⑤ 目標設定を行う
- ※ 歩数データを自動的に取得する設定にすると便利

## 市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。掲載申込みの詳細は、市HPをご覧ください。

※掲載の申込方法が「電子申請」に変更になりました。

☎ 広報情報課 ☎ 983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索

### 3月1日号への掲載の申込みは、1月20日(金)までに電子申請

(電子申請がご利用いただけない場合は、申込用紙を広報情報課 FAX 983・2719)



◀ 詳細はこちら



◀ 電子申請はこちら

※ 申込方法が「電子申請」になりました。

### 文化

#### 静岡県書道連盟創立七十五周年記念 第75回書きぞめ三島・伊豆地区展

☎ 1月21日(出)午後3時～5時、1月22日(回)午前9時～午後4時 ☎ 生涯学習センター3階 ☎ 幼稚園、小・中学校、高校、一般の書きぞめ作品を展示 ☎ 長島 ☎ 986・5118

### その他

#### がん哲学外来メディカルCafe @三島

☎ 1月14日(出)午前10時～正午 ☎ 市民活動センター(本町タワー4階) ☎ がん治療中の人、経験者が気軽に話せるサロンです。がん経験者や医療関係者も同席します。概ね3カ月毎に開催 ☎ 無料 ☎ がん治療中または経験者

やその家族、友人 ※ がんの種類や性別・年齢不問 ☎ 15人 ☎ 特定の治療法の推奨や宗教・政治目的、また発熱など体調不良の人は来場不可 ☎ 大橋 ☎ mishima\_gantetsu@yahoo.co.jp

#### 看護職のための合同就職相談会 「ナースのお仕事フェア」

☎ 1月21日(出)午前10時～午後1時 ☎ 市民文化会館・大会議室 ☎ 定年退職予定や働き方を変えたい人、再就業を考えている人や看護学生と地域の施設担当者が直接就職相談できます。お子様連れ歓迎。☎ 無料 ☎ 看護職免許保有者と看護学生 ☎ 日程変更などは静岡県看護協会ホームページ ☎ 静岡県ナースセンター ☎ 054・202・1761

#### 健康！歌声クラブ 8周年祭

☎ 2月19日(回)午前10時(開場)、10時15分～11時15分 ☎ 生涯学習センター3階・講義室 ☎ ピアノやドラムの伴奏に合わせて、懐かしい童謡や歌謡曲などを皆さんで楽しく歌い、健康増進を図ります ☎ 無料 ☎ 中学生以上 ☎ 60人 ☎ 2月17日(金) 健康！歌声クラブ・田中 ☎ FAX 988・4140

#### 伊豆一周ウォーキング 会員募集

☎ 1月25日(回)午前6時 ☎ 三島駅北口集合(コース：恋人岬～土肥・丸山城址) ☎ 伊豆半島一周500kmを月1回2年で名所・旧跡・海岸・山岳をウォーキング。往復はバス使用 ☎ バス代 ☎ 20人 ☎ 雨具、弁当、帽子、タオル ☎ 1月18日(回)までに三島ウォーキングクラブ・渡邊 ☎ 975・9902

#### 【申込みの注意事項】

- ・ 紙面に限りがあるため、掲載できない場合や、内容を省略する場合があります。了承のうえ、お申込みください。
- ・ 掲載の可否は原稿の確認の連絡をもって代えるものとし、掲載不可の場合は連絡しません。
- ・ 掲載は無料
- ・ 掲載基準を必ず確認し、了承のうえでお申込みください。

※ 掲載基準などの詳細は市ホームページ

※ 広報みしま令和4年12月1日号の掲載記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

30ページ「シニアのための脳トレピアノ講座 お仲間募集」…(正)井上 ☎ 080・3313・0602

# 歴史小箱

地域の歴史  
— 平田 —

No.415

郷土資料館では、企画展「古代伊豆国一国府と国分寺」を開催しています。(1月29日(日)まで)

郷土資料館 (楽寿園内) ☎ 971-8228

今回は中郷地区に位置する平田についてご紹介します。

平田は、境川の東岸に位置する地域です。東には新谷が位置し、西は清水町に隣接します。

「平田」の地名の由来について、『増訂豆州志稿』(江戸時代に編さんされた伊豆の地誌に)

明治時代になって加筆したもので、平らな田地であったところから名付けられたと推測されています。戦国時代には、小田原北条氏の一族や家臣の所領を書き上げた史料(「小田原衆所領役帳」)に、北条家の家臣の所領があった場所のひとつとして「平田」の名が登場します。江戸時代は、はじめ幕府領、後に小田原藩領となり、村高(一村ごとの生産性を米の生産高である石高で表したもの)はおよそ一九三石でした。

さて、平田の南西部には瑞雲山吉祥寺という臨済宗のお寺があります。古くは「平吉山」と

呼ばれ、鎌倉時代中頃、正嘉年中(一二五七〜五九)に創建されたと伝わっています。「増訂豆州志稿」は、もとは青木にあったものを移したと言ひ伝えを載せていますが、はつきりとした記録はありません。現在の吉祥寺は無居住寺院となっており、御園の蔵六寺の住職が兼任で住職を務めています。なお、通常の管理は地域の方が当番で行っています。

吉祥寺には、本尊である地藏尊とともに薬師如来像と一緒に安置されています。この薬師如来像は同じ平田村内にあった医宝寺より移されたものだといわれています。医宝寺はもと真言宗の寺院で、江戸時代初期より修験寺院となり、明治初期には廃寺となっていたようです。代々修験職をつとめる榊氏がここに住み、私塾を開いていたそうです。

この医宝寺と関係しているのかは定かではありませんが、平田の年中行事として「お薬師さん」と呼ばれる薬師如来の縁日があります。薬師如来の十二神を祀る縁日で、正月・五月の

十二日に催されました。眼病の人には「お目玉」といって「薬包団子」(ワラの容器に包んだ団子か)を作って渡していたと伝わっています。この縁日には夜店がでて大変にぎやかで、各農家ではお客さんを招きごちそうするなど、盛大に行われていたとも言われています。また、現在でも行われている催しとして吉祥寺では「薬師講」と呼ばれる集まりがあり、地域の方が五〜六人で集まって開催しているそうです。



▲吉祥寺外観

## わたしのおじいちゃん

当番 ますだ ゆま さん

私のおじいちゃんは、とても優しく働きます。きれいな好きで、家の中はいつもピカピカだし、しゅ味で作っている野菜や花は、売られているものよりおいしくてきれいなので尊敬しています。

かっこいいバイクの後ろに私や妹を乗せてドライブに連れて行ってくれたり、若いころは仕事で長い間外国にいたので、行ったことのない外国の話がたくさん聞いたりするのでもすごく楽しいです。

おじいちゃんには、これからも元気でいてもらいたいです。



渡邊 利之(73歳)  
増田 優茉(山田小 6年)